



昨年6月号で募集した「みんなのSDGs」。9月号からの隔月掲載に続き、日本福祉大学の学生と行ったインタビュー内容を報告（第5弾）します！令和3年度中に行ったインタビューの紹介記事は7月号までです。

株式会社 みらい共創技術研究所

インタビュー：
日本福祉大学 坂本実穂さん

岩倉市にSDGsの風を吹かせる！

代表の樋口さんは東日本大震災が大きなきっかけで、地域のまちづくりに強く関心を抱かれました。震災や災害が多い日本では、地域のコミュニティでの連携が必要です。

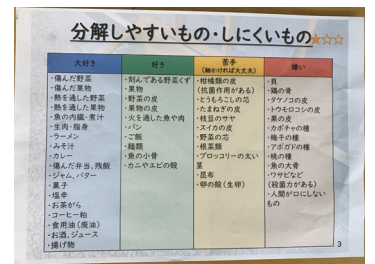
「キエーロ」という木製の生ごみ処理機を開発・製作し、生ごみを土に還すことで、ごみの量を減らし、環境に与える影響を小さくしています。キエーロは林業が盛んな岩手県遠野市で作られており、遠野市の課題である間伐材を使用しています。地域間の特色を生かし、地域ごとの問題を別の地域が解決できるようなマッチングをしたいと言っていました。

岩倉市内でもキエーロの実証実験が行われ、生ごみを分解し肥沃になった土をいずれ岩倉市内の花壇や近所のプランターの土に使っていきたいと言っていました。

私たちの一番身近な暮らしから、小さな循環が生まれていくことに魅力を感じ、日々の暮らしの小さな選択が持続可能な社会への一歩につながると改めて感じました。



木製コンポスト



今年度も！

企業や団体が取り組む 「みんなのSDGs」を募集します！

企業や団体で、取り組んでいる・取り組みたいSDGsをおしえてください。

集まった「みんなのSDGs」の中から、日本福祉大学の学生とともにインタビュー企業・団体を選定し、その内容を広報紙等で紹介する予定です。

- 応募方法 二次元コードより入力してください。
- 募集期間 7月31日(日)まで



●問合先 秘書企画課企画政策グループ (☎ 38-5805)